

2020年1月22日

患者の皆様へ

旭中央病院泌尿器科では、現在、千葉大学を中心とする多施設共同研究「泌尿器悪性腫瘍摘出検体を用いた画像的探索」に参加しています。この研究では、当院泌尿器科で癌の診断を受け、手術された方の診療情報などを利用して頂きます。この研究を通じて患者さんの個人情報公開されることは一切ありません。

診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われるのかについて詳しく知りたい方は、下記の間合せ先までご連絡ください。

1. 研究課題名

泌尿器悪性腫瘍摘出検体を用いた画像的探索

2. 研究の意義・目的

泌尿器科に限らず様々な診療科において、CTやMRIを含めた画像検査は、診断や治療効果の判定に欠かせないものとなってきています。しかし、現在の画像検査だけでは限界があり、今後も正確、精密な診断のために画像検査の進歩が求められています。本研究は、さらなる画像検査の探索を目的としています。

3. 研究の方法

2020年1月22日～2021年3月31日までの期間において、当院で泌尿器悪性腫瘍の治療目的で手術を受けられた方について、手術時に通常診療の一環で摘出された標本の一部を用いてさらなる画像撮影を行い、患者背景・検査結果・治療経過などの診療情報とあわせてデータを解析することで、さらなる画像撮影の適正性や効果について検討いたします。検体の画像撮影やデータの解析・保管は千葉大学大学院医学研究院泌尿器科学にて行われます。その際、データは個人を特定できないように暗号化された識別番号で扱われます。

4. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

本研究は文部科学省、厚生労働省が定める「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り施行されます。

研究実施機関：総合病院国保旭中央病院 泌尿器科

本件のお問合せ先：泌尿器科 医師 長岡浩太郎

0479-63-8111 (代表)